



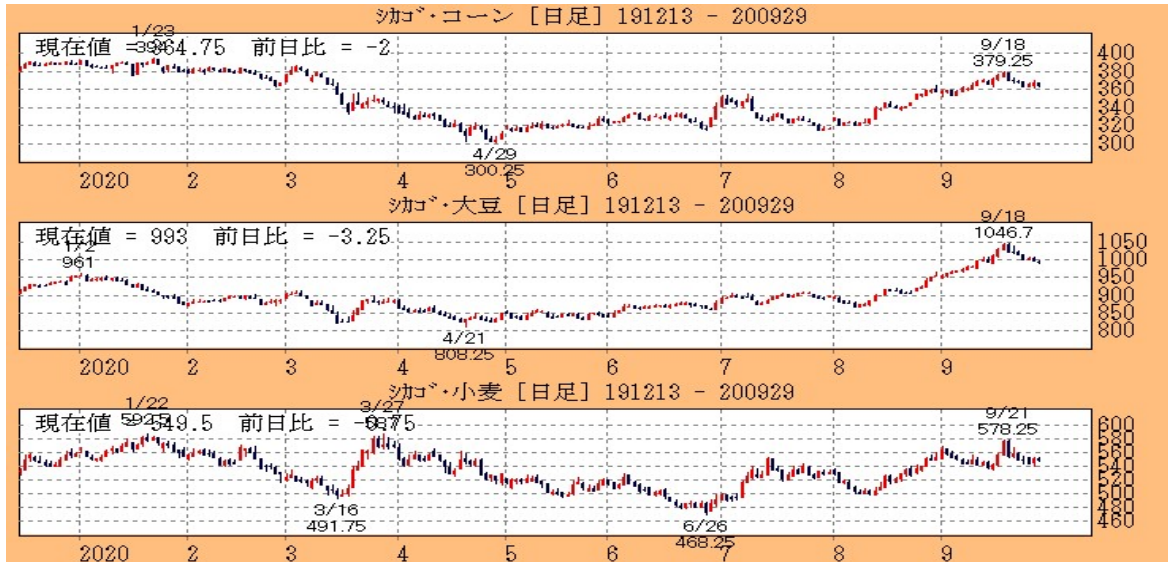
週刊穀物

世界の穀物情報がここに凝縮されています。
毎週水曜夕方発行



トウモロコシは反落、大豆は続落

2020/9/30

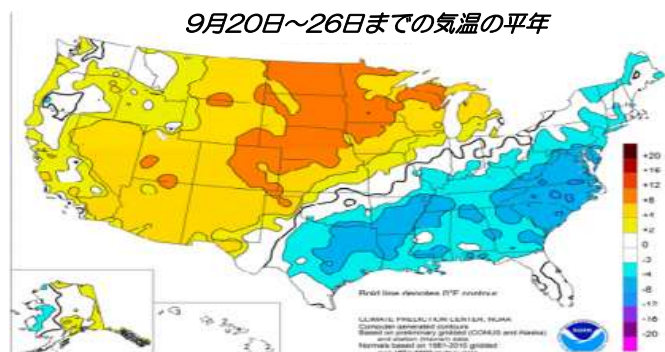
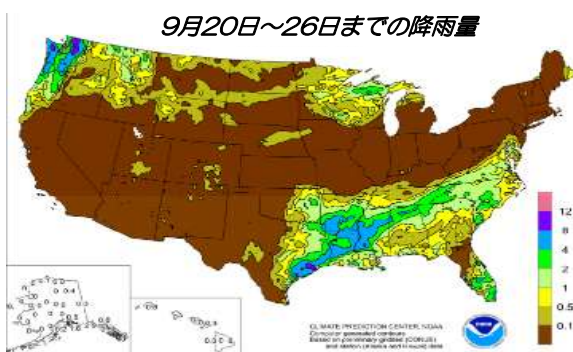


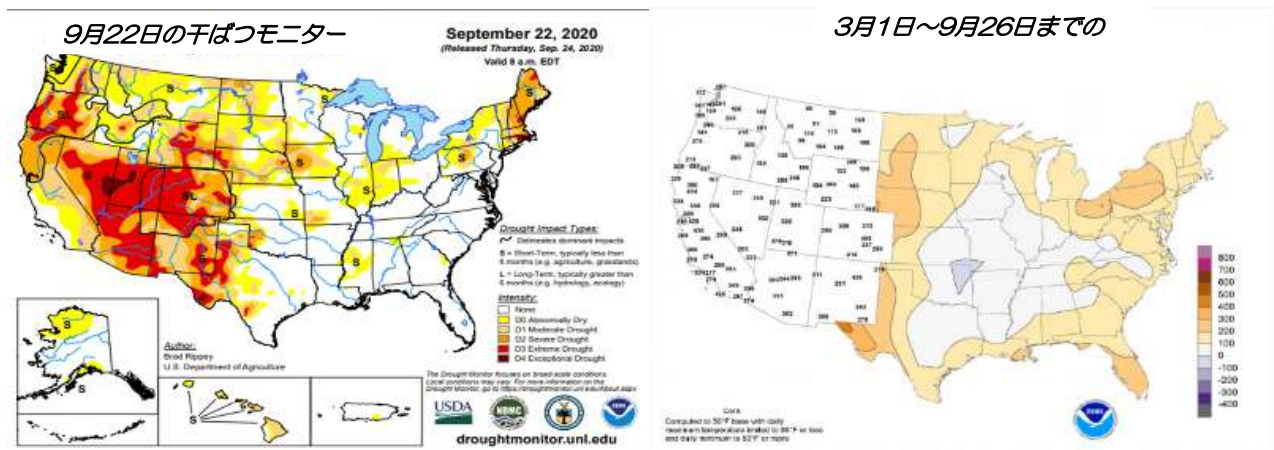
29日のシカゴトウモロコシ12月限は前日比▲2.00セントの364.75セントと反落。取引レンジは361.00セント～367.75セント。前日の取引終了後に米農務省（USDA）が発表した週間収穫進捗（しんちやく）率によると、米国産トウモロコシの収穫は27日時点で15%完了した。これは、この時期の5年平均や、事前予想を下回る水準だった。ただ、作柄報告で、コーンの作柄が前週よりも1%引き上げられていたことが弱材料視された。また、米産地では晴天が続いていることで、ハーベストプレッシャー（収穫期の売り圧力）が強まったことから売りが先行すると、一時361セントまで下落した。その後は、USDAが30日発表する四半期ごとの全米穀物在庫統計を控えたポジション調整の動きから下げ幅を縮小した。穀物在庫統計は、9月1日時点のトウモロコシ在庫の事前予想は2017年以来の高水準となっている。

29日のシカゴ大豆11月限は前日比▲3.25セントの993.00セントと続落。取引レンジは985.75セント～997.75セント。前日の取引終了後に米農務省（USDA）が発表した週間収穫進捗（しんちやく）率によると、米国産大豆の収穫は27日時点で20%完了した。この時期の5年平均よりも収穫が進んでおり、米産地での大豆の収穫が順調に進行していることが弱材料となった。一時は16日以来の安値となる985.75セントまで下落した。その後は、先週から大きく下落していることや、USDAが30日発表する四半期ごとの全米穀物在庫統計を控えたポジション調整の動きから調整高となる場面もあったが、引けにかけて売られマイナス圏で取引を終えた。

29日のシカゴ小麦12月限は前日比▲0.75セントの549.50セントと反落。取引レンジは546.00セント～553.25セント。主要な小麦生産地で降雨が観測されていることが相場を圧迫した。前日に下ひげをつけて陽線となり安値から大きく反発し、この日も前日高値を超える場面があったが、伸び悩んだ。米農務省（USDA）が発表した2021年の冬小麦の作付け進捗率は事前予想と一致し材料視されなかった。

米国の天候 by Weekly Weather and Crop Bulletin of USDA





9月21日秒速20mの風雨を伴った熱帯低気圧がテキサス州から北東部に抜けて、一帯に降雨をもたらした。この影響を受けて、綿花、コメ、大豆の収穫が遅れた。テキサス州からルイジアナ州にかけては大雨で洪水となる一方、五大湖周辺と北西部でも降雨があった。それ以外の地域では概ね乾燥した天候が続いた。西部地域では引き続き干ばつが続いており、牧草地帯に影響が出ている。

Crop Progress

トウモロコシ				18州
Matured	前年度	2020年度	過去5年平均	
8月23日	2%	5%	3%	
8月30日	5%	12%	7%	
9月6日	10%	25%	19%	
9月13日	16%	41%	32%	
9月20日	26%	59%	49%	
9月27日	39%	75%	65%	

トウモロコシ				18州
Hrvested	前年度	2020年度	過去5年平均	
9月13日	3%	5%	5%	
9月20日	6%	8%	10%	
9月27日	10%	15%	16%	

大豆				18州
落葉	前年度	2020年度	過去5年平均	
8月23日	2%	4%	4%	
8月30日	2%	8%	8%	
9月6日	7%	20%	16%	
9月13日	13%	37%	31%	
9月20日	29%	59%	50%	
9月27日	49%	74%	69%	

トウモロコシ						
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
5月24日	1%	4%	21%	61%	12%	73%
5月31日	1%	3%	21%	61%	15%	76%
6月7日	1%	3%	21%	60%	15%	75%
6月14日	1%	4%	24%	56%	15%	71%
6月21日	1%	4%	23%	57%	15%	72%
6月28日	1%	4%	22%	57%	16%	73%
7月5日	1%	4%	23%	54%	16%	70%
7月12日	2%	6%	23%	52%	17%	69%
7月19日	2%	6%	23%	52%	17%	69%
7月26日	2%	5%	21%	55%	17%	72%
8月2日	2%	5%	21%	55%	17%	72%
8月9日	2%	6%	21%	53%	18%	71%
8月16日	3%	7%	21%	52%	17%	69%
8月23日	4%	8%	24%	49%	15%	64%
8月30日	5%	9%	24%	48%	14%	62%
9月6日	5%	9%	25%	46%	18%	64%
9月13日	5%	10%	25%	46%	14%	60%
9月20日	5%	9%	25%	47%	14%	61%
9月27日	5%	9%	25%	47%	14%	61%
前年度	4%	10%	29%	46%	11%	57%

大豆				18州
収穫	前年度	2020年度	過去5年平均	
9月27日	6%	25%	15%	



冬小麦			18州
作付け	前年度	2020年度	過去5年平均
9月6日	1%	5%	3%
9月13日	6%	10%	8%
9月20日	18%	20%	19%
9月27日	34%	35%	33%

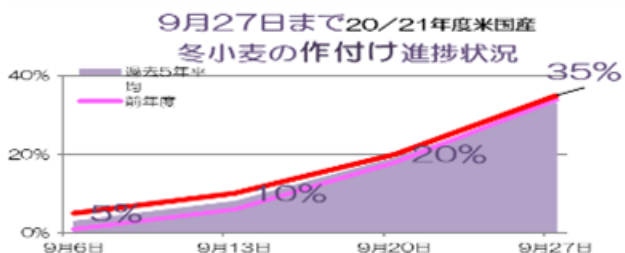
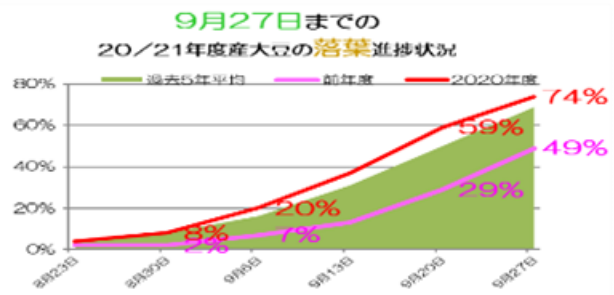
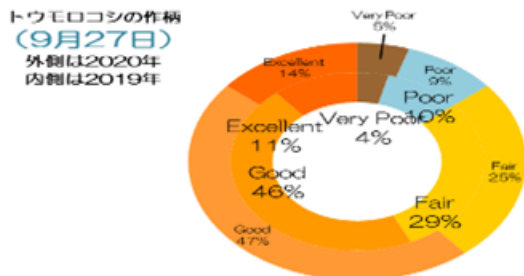
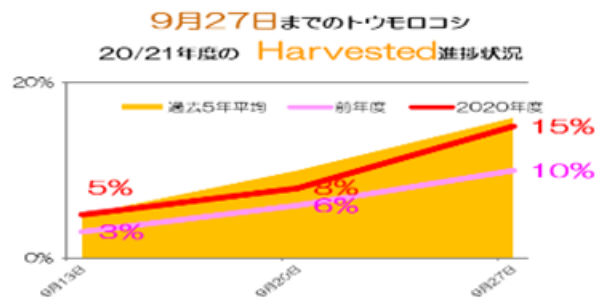
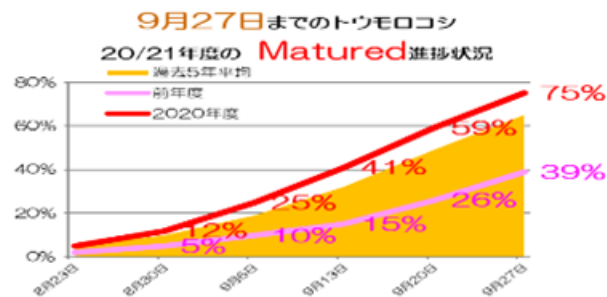
冬小麦			18州
Emerged	前年度	2020年度	過去5年平均
9月20日	2%	3%	2%
9月27日	8%	10%	8%

大豆						
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
6月21日	1%	4%	24%	60%	12%	72%
6月28日	1%	4%	25%	58%	13%	71%
7月5日	1%	4%	24%	58%	14%	72%
7月12日	2%	5%	24%	57%	14%	71%
7月19日	2%	5%	25%	54%	15%	69%
7月26日	1%	5%	24%	54%	15%	69%
8月2日	1%	5%	22%	57%	15%	72%
8月9日	1%	4%	21%	57%	17%	74%
8月16日	2%	5%	21%	56%	16%	72%
8月23日	2%	6%	23%	55%	14%	69%
8月30日	3%	7%	24%	53%	13%	66%
9月6日	3%	7%	25%	52%	13%	65%
9月13日	3%	8%	26%	50%	13%	63%
9月20日	3%	7%	27%	51%	12%	63%
9月27日	3%	7%	26%	51%	13%	64%
前年度	3%	10%	32%	46%	9%	55%

9月27日の米国産トウモロコシのMaturedは75%（前年は39%、過去5年平均は65%）トウモロコシの作柄は優と良が61%。（前年は57%）トウモロコシの収穫は15%完了（前年は6%、過去5年平均は10%）

大豆は、落葉が74%完了、（前年は49%、過去5年平均は69%）作柄は優と良が64%。（前年は55%）

冬小麦の作付けが35%（前年は34%、過去5年平均は33%）冬小麦の開花は10%（前年は8%、過去5年平均は8%）





トウモロコシの9月の需給報告（世界）

毎月の世界の需給予測の推移

19/20年度（旧穀）

	2019/20年度							
	百万トン	期初在庫	生産	輸入	国内消費（食料）	国内需要合計	輸出	期末在庫
18/19年度		341.6	1,122.7	163.0	700.8	1,143.5	181.6	320.5
5月		325.9	1,133.8	167.1	705.1	1,145.0	171.6	314.7
6月		325.4	1,099.2	167.4	696.3	1,134.1	169.8	290.5
7月		328.8	1,105.1	167.8	696.5	1,135.0	170.8	298.9
8月		328.6	1,108.2	169.3	694.4	1,129.1	169.9	307.7
9月		329.6	1,104.9	169.4	694.2	1,128.2	169.9	306.3
10月		324.0	1,104.0	166.1	693.9	1,125.5	166.6	302.6
11月		320.1	1,102.2	167.4	694.9	1,126.3	167.1	296.0
12月		320.1	1,102.2	167.4	694.9	1,126.3	167.1	296.0
1月		319.2	1,108.6	167.6	696.3	1,127.2	166.6	300.6
2月		320.4	1,110.8	167.4	703.9	1,133.4	165.6	297.8
3月		320.5	1,111.6	168.0	704.9	1,135.2	165.8	296.8
4月		341.6	1,123.7	162.9	702.3	1,144.3	180.9	320.9
5月		341.3	1,123.4	163.0	702.4	1,143.8	180.9	320.9
6月		320.1	1,113.5	169.6	706.2	1,120.7	169.5	312.9
7月		320.1	1,113.6	169.2	706.6	1,121.7	171.2	312.0
8月		320.1	1,112.4	168.5	705.8	1,121.2	171.2	311.3
9月		320.5	1,112.8	167.5	708.0	1,124.2	170.3	309.2
前月比		+0.5	+0.4	▲1.1	+2.2	+3.0	▲0.9	▲2.2
前年比		▲9.0	+8.0	▲2.0	+13.7	▲3.9	+0.4	+2.9

19/20年度旧穀に対する世界のトウモロコシの生産は8月に比べて+40万トン上方修正され11億1280万トンとなった。

国内需要合計は+300万トン上方修正し11億2,420万トンとなった。

一方輸入は▲110万トン下方修正で、輸出も▲90万トン下方修正となった。

その結果期末在庫は▲220万トン下方修正されて3億920万トンとなった。

20/21年度新穀に対する世界のトウモロコシの生産は8月に比べて▲860万トン下方修正され11億6,240万トンとなった。前年度からは+5,080万トン増加している。

20/21年度（新穀）

	2020/21年度							
	百万トン	期初在庫	生産	輸入	国内消費（食料）	国内需要合計	輸出	期末在庫
18/19年度		341.3	1,111.6	168.0	704.9	1,135.2	165.8	296.8
5月		314.7	1,186.9	176.2	729.0	1,162.0	182.3	339.6
6月		312.9	1,188.5	176.6	730.4	1,163.5	182.5	337.9
7月		312.0	1,163.2	176.9	727.5	1,160.1	182.5	315.0
8月		311.3	1,171.0	178.9	732.0	1,164.9	184.7	317.5
9月		309.2	1,162.4	179.3	733.1	1,164.7	186.0	306.8
前月比		▲2.2	▲8.6	+0.4	+1.1	▲0.1	+1.4	▲10.7
前年度比		▲32.1	+50.8	+11.4	+28.2	+29.5	+20.3	+10.0

国内需要合計は前月比▲10万トン下方修正され、11億6,470万トンとなった。前年からは+2,950万トン増加している。

一方輸入は+40万トン上方修正で、輸出も+140万トン上方修正となった。

その結果期末在庫は▲1,070万トン下方修正されて3億680万トンとなった。

旧穀の国別前月比（生産と国内需

百万トン	19/20年度		
	8月	9月	前月比
世界	1,112	1,113	+0.4
米国	346	346	+0.0
中国	261	261	+0.0
ブラジル	101	102	+1.0
EU	67	67	+0.0
アルゼンチン	50	50	+0.0
内ウクライナ	36	36	+0.0
東南アジア	30	29	▲0.3
メキシコ	25	25	+0.0
南ア	16	16	+0.0
ロシア	14	14	+0.0
カナダ	13	13	+0.0
エジプト	6	6	+0.0

百万トン	19/20年度		
	8月	9月	前月比
世界	1,121	1,124	+3.0
中国	301	301	+0.1
米国	274	277	+3.0
EU	83	82	▲0.8
ブラジル	68	69	+1.0
東南アジア	46	46	▲0.2
メキシコ	45	44	▲0.3
エジプト	17	17	+0.0
日本	16	16	+0.0
アルゼンチン	14	14	+0.2
カナダ	14	14	+0.0
韓国	13	13	+0.0
ロシア	11	11	+0.0
南ア	10	10	+0.0
ウクライナ	5	6	+0.4

19/20年度の旧穀の生産量は、ブラジルが9月は前月に比べて100万トン上方修正となり、1億200万トンになった。東南アジアが▲30万トン下方修正されている。

19/20年度の旧穀の国内需要量は、米国が前月から+300万トンの上方修正となり、ブラジルが+100万トンの上方修正、アルゼンチンが+20万トンの上方修正となり、EUが▲80万トン、メキシコが▲30万トン、東南アジアが▲20万トンの下方修正となった。



旧穀の国別前月比（輸入と輸出）

19/20年度			
百万トン	輸入		
	8月	9月	前月比
世界	168.5	167.5	▲1.1
EU	20.5	19.5	▲1.0
東南アジア	17.8	17.8	▲0.0
メキシコ	17.	17.	+0.0
日本	16.	16.	+0.0
韓国	11.4	11.4	+0.0
エジプト	10.5	10.6	+0.1
中国	7.	7.	+0.0
カナダ	1.8	2	+0.2
ブラジル	1.2	1.2	+0.0
米国	1.1	1.1	+0.0
ロシア	.1	.1	+0.0

19/20年度			
百万トン	輸出		
	8月	9月	前月比
世界	171	170	+0.0
米国	46	45	+0.0
アルゼンチン	37	37	+0.0
ブラジル	34	34	+0.0
ウクライナ	31	31	+0.0
EU	5	5	+0.0
ロシア	4	4	+0.0
南ア	3	3	+0.0
メキシコ	1	1	+0.0
カナダ	1	1	+0.0
東南アジア	1	1	+0.0

19/20年度の旧穀の輸入量は、EUが▲100万トンの下方修正となる一方で、カナダが+20万トン、エジプトが+10万トンの上方修正となった。

旧穀の国別前月比（期末在庫）

19/20年度			
千トン	期末在庫		
	8月	9月	前月比
世界	311	309	▲2.2
中国	204	201	▲3.0
米国	57	57	+0.6
EU	7	7	+0.0
ブラジル	5	5	+0.0
東南アジア	4	4	+0.3
カナダ	2	2	+0.0
南ア	2	2	+0.0
韓国	2	2	+0.0
メキシコ	2	2	+0.0
アルゼンチン	2	2	+0.0
エジプト	2	2	+0.1
日本	1	1	+0.0
ウクライナ	1	1	+0.1
ロシア	1	1	+0.0

19/20年度の旧穀の期末在庫は中国が▲300万トン下方修正となり、米国が+60万トン、東南アジアが+30万トン、エジプトが+10万トン、ウクライナが+10万トンの上方修正となった。

新穀の国別前月比（生産と国内需要）

20/21年度			
百万トン	生産		
	8月	9月	前月比
世界	1,171	1,162	▲8.6
米国	388	378	▲9.6
中国	260	260	+0.0
ブラジル	107	110	+3.0
EU	68	66	▲1.5
アルゼンチン	50	50	+0.0
ウクライナ	40	39	▲1.0
東南アジア	30	30	+0.1
メキシコ	28	28	+0.0
ロシア	15	15	▲0.3
南ア	14	14	+0.0
カナダ	14	14	▲0.3
エジプト	6	6	+0.0

20/21年度			
百万トン	国内需要合計		
	8月	9月	前月比
世界	1,165	1,165	▲0.1
米国	319	314	▲5.1
中国	277	279	+2.0
EU	89	89	▲0.5
ブラジル	68	70	+2.0
東南アジア	48	48	+0.2
メキシコ	46	45	▲0.3
エジプト	17	17	+0.0
日本	16	16	+0.0
アルゼンチン	15	15	+0.0
カナダ	15	15	▲0.2
南ア	12	12	+0.0
韓国	12	12	+0.0
ロシア	11	11	+0.2
ウクライナ	5	6	+0.1

20/21年度の新穀の生産は8月に比べて米国が▲960万トン下方修正され、EUが▲150万トン、ウクライナが▲100万トン、ロシアが▲30万トン、カナダが▲30万トン下方修正された。一方ブラジルが+300万トン、東南アジアが+10万トン上方修正されている。

需要は米国が▲510万トン、EUが▲50万トン、メキシコが▲30万トン、カナダが▲20万トン下方修正され、中国とブラジルがそれぞれ+200万トン、東南アジアがとロシアがそれぞれ+20万トンウクライナが+10万トン上方修正されている。



新穀の国別前月比（輸入と輸出）

20/21年度			
百万トン	輸入		
	8月	9月	前月比
世界	169	167	▲1.1
EU	21	20	▲1.0
東南アジア	18	18	▲0.0
メキシコ	17	17	+0.0
日本	16	16	+0.0
韓国	11	11	+0.0
エジプト	11	11	+0.1
中国	7	7	+0.0
カナダ	2	2	+0.2
ブラジル	1	1	+0.0
米国	1	1	+0.0
ロシア	0	0	+0.0

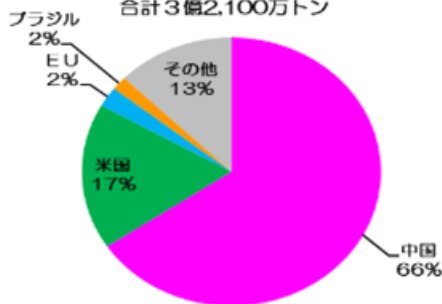
20/21年度			
百万トン	輸出		
	8月	9月	前月比
世界	171	170	▲0.9
米国	46	45	▲0.8
アルゼンチン	37	37	+0.0
ブラジル	34	34	+0.0
ウクライナ	31	31	▲0.5
EU	5	5	▲0.2
ロシア	4	4	+0.0
南ア	3	3	+0.0
メキシコ	1	1	+0.3
カナダ	1	1	+0.0
東南アジア	1	1	▲0.0

20/21年度の新穀の輸入はEUが▲100万トン下方修正され、カナダが+20万トン、エジプトが+10万トン上方修正されている。

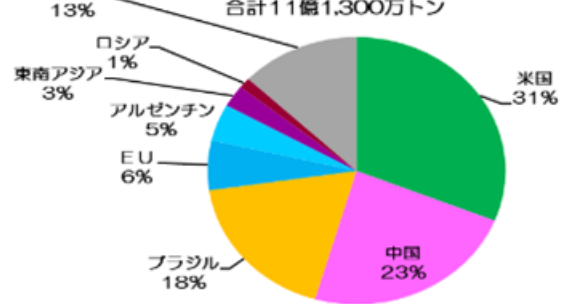
20/21年度の新穀の輸出は、米国が▲80万トン、ウクライナが▲50万トン、EUが▲20万トン下方修正されているのに対し、メキシコが+30万トン上方修正されている。

旧穀の国別割合

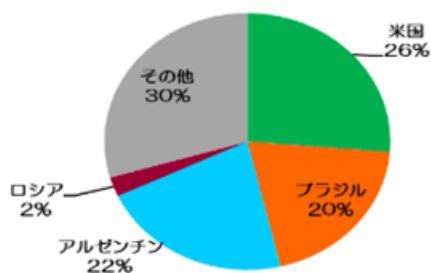
トウモロコシの**期初在庫** (2019/20年度)
by USDA 需給報告2020年9月号
合計3億2,100万トン



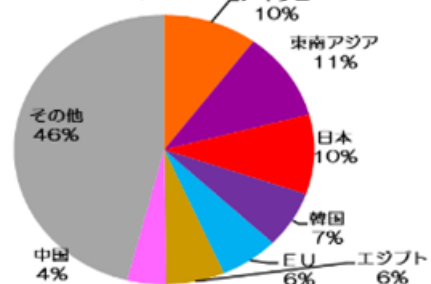
トウモロコシの**生産国** (2019/2020年度)
by USDA 需給報告2020年9月号
合計11億1,300万トン



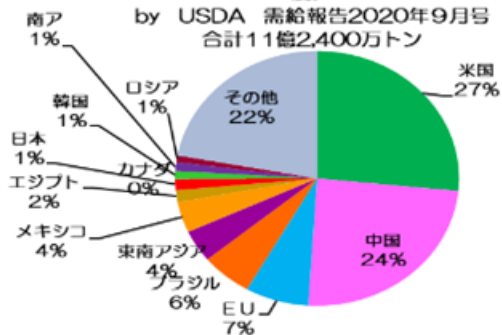
トウモロコシの**輸出国** 2019/2020年度)
by USDA 需給報告2020年9月号
合計1億7,000万トン



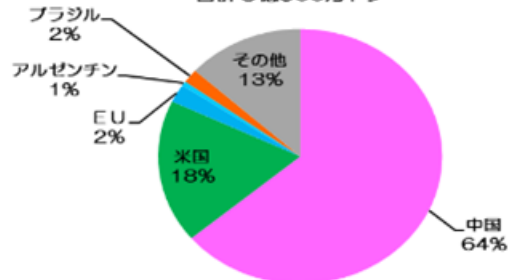
トウモロコシの**輸入国** 2019/2020年度)
by USDA 需給報告2020年9月号
合計1億6,700万トン



トウモロコシの**国内需要合計** 2019/2020年度)
by USDA 需給報告2020年9月号
合計11億2,400万トン



トウモロコシの**期末在庫** 2019/2020年度)
by USDA 需給報告2020年9月号
合計3億900万トン



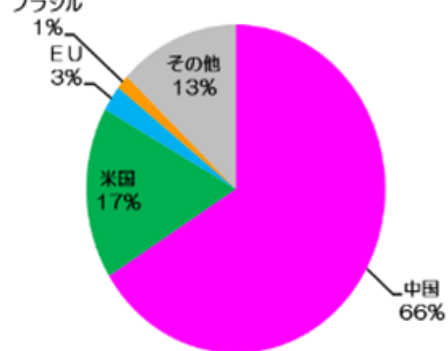


新穀の国別割合

トウモロコシの**期初在庫** (2020/21年度)

by USDA 需給報告2020年9月号

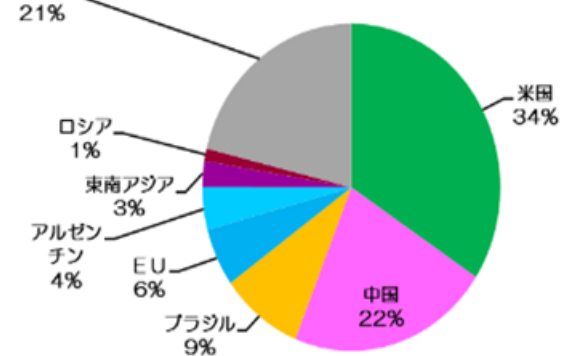
合計3億1,500万トン



トウモロコシの**生産国** (2020/21年度)

by USDA 需給報告2020年9月号

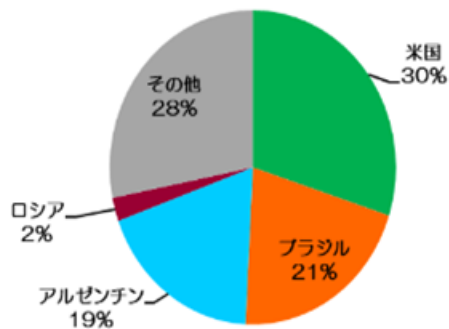
合計11億8,700万トン



トウモロコシの**輸出国** (2020/21年度)

by USDA 需給報告2020年9月号

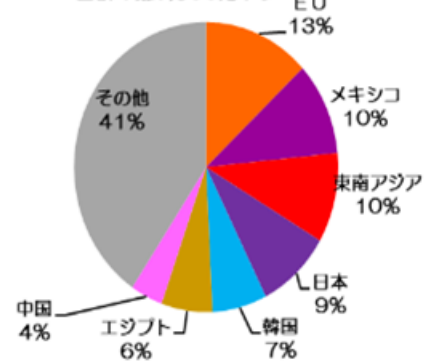
合計1億8,200万トン



トウモロコシの**輸入国** (2020/21年度)

by USDA 需給報告2020年9月号

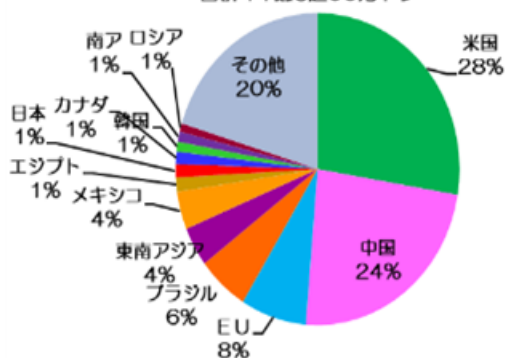
合計1億7,600万トン



トウモロコシの**国内需要合計** (2020/21年度)

by USDA 需給報告2020年9月号

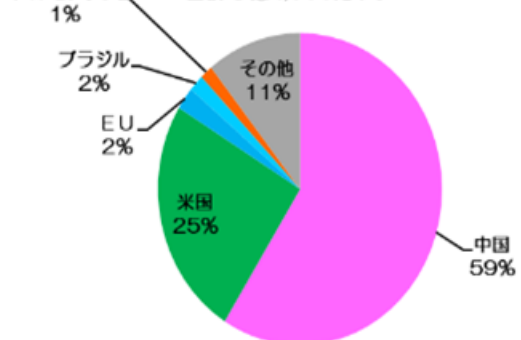
合計11億6,200万トン



トウモロコシの**期末在庫** (2020/21年度)

by USDA 需給報告2020年9月号

合計3億4,000万トン





今後の予想

世界のトウモロコシの需要には新型コロナウィルスの影響はそれ程見えないようである。もっぱら生産面での豊作模様が一時米国中西部における強風による倒壊減少で値上がったこともあったが、それも沈静化しているようである。トウモロコシも大豆も米国では収穫が順調に始まっているようである。特に作柄の低下も見られず、今年は豊作であると言えよう。従って一時の値上がりは反動安となっている。新型コロナウィルスはどの程度食肉需要、ひいては飼料需要に影響を与えるかであるが、少なくともエタノール需要は昨年よりも落ち込んでいる。あまりトウモロコシ価格を押し上げるような要因は今のところ見当たらない。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMi」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

発行元：



COMMODITY
INTELLIGENCE

株式会社コモディティー インテリジェンス 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310

会社電話：03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692

Eメールアドレス：kondo@commi.cc